

契約に基づく継続的メンテナンス、
エンジンメーカーによる万全のサービス体制が、
機関性能の100%発揮と機関寿命の最大化を実現します。

全国の主要都市にサービスネットワークを配備するヤンマーグループならではの充実したアフターサービス体制。
エンジンコンサルティングや定期検査整備、交換部品供給、
さらに、思わぬトラブルの際には、迅速・的確な対応を可能にする、強力な支援体制を構築しています。

ヤンマーパワーテクノロジー株式会社	
本社	〒530-8311 大阪市北区茶屋町1-32 YANMAR FLYING-Y BUILDING
特機事業部 船用営業部	
■ 営業企画部	〒660-8585 兵庫県尼崎市長洲東通1-1-1 TEL:06-6489-8069 FAX:06-6489-1082
■ 第一特販部	〒660-8585 兵庫県尼崎市長洲東通1-1-1 TEL:06-6489-8042 FAX:06-6489-1082
■ 第二特販部	〒101-0021 東京都千代田区外神田4-14-1 秋葉原UDX北ウイング18F TEL:03-6733-4204 FAX:03-6733-4205
■ 焼津営業所	〒425-0023 静岡県焼津市新屋434-1 TEL:054-629-1111 FAX:054-627-0455
■ 第三特販部	〒101-0021 東京都千代田区外神田4-14-1 秋葉原UDX北ウイング18F TEL:03-6733-4204 FAX:03-6733-4205
■ 海外販売グループ	〒660-8585 兵庫県尼崎市長洲東通1-1-1 TEL:06-6489-8042 FAX:06-6489-1082
■ 大阪特販部	〒660-8585 兵庫県尼崎市長洲東通1-1-1 TEL:06-6489-8050 FAX:06-6489-1081
■ 中国特販部	〒731-5145 広島県広島市佐伯区隅の浜3-1-31 TEL:082-923-4112 FAX:082-923-0668
■ 四国特販部	〒769-0101 香川県高松市国分寺町新居508-2 TEL:087-874-9117 FAX:087-874-9120
■ 九州特販部	〒808-0027 福岡県北九州市若松区北湊町7-1 TEL:093-771-3751 FAX:093-771-6232
■ 大分営業所	〒875-0002 大分県臼杵市大字下ノ江字浦501-2 TEL:0972-67-2447 FAX:0972-67-2276
■ 長崎営業所	〒850-0031 長崎県長崎市桜町8-31 TEL:095-822-2494 FAX:095-822-2169
■ 鹿児島営業所	〒891-0132 鹿児島県鹿児島市七ツ島1-4-13 TEL:099-261-1793 FAX:099-262-5808
□ 尼崎工場	〒660-8585 兵庫県尼崎市長洲東通1-1-1 TEL:06-6489-8002 FAX:06-6488-4003
□ 中央研究所	〒521-8511 滋賀県米原市梅ヶ原1600-4 TEL:0749-52-8401 FAX:0749-52-6338

ヤンマーエンジニアリング株式会社	
本社	〒660-8585 兵庫県尼崎市長洲東通1-1-1 (ヤンマー(株)尼崎工場内) TEL:06-6489-8045 FAX:06-6489-8075
■ 東京エンジニアリング部	〒101-0021 東京都千代田区外神田4-14-1 秋葉原UDX北ウイング18F TEL:03-6733-4204 FAX:03-6733-4205
■ 焼津サービスセンター	〒425-0023 静岡県焼津市新屋434-1 TEL:054-629-1111 FAX:054-627-0455
■ 大阪エンジニアリング部	〒660-8585 兵庫県尼崎市長洲東通1-1-1 (ヤンマー(株)尼崎工場内) TEL:06-6489-8051 FAX:06-6481-6760
■ 中国エンジニアリング部	〒731-5145 広島県広島市佐伯区隅の浜3-1-31 TEL:082-923-4152 FAX:082-923-0668
■ 四国エンジニアリング部	〒769-0101 香川県高松市国分寺町新居508-2 TEL:087-874-9116 FAX:087-874-9120
■ 九州エンジニアリング部	〒808-0027 福岡県北九州市若松区北湊町7-1 TEL:093-771-3751 FAX:093-771-6232
■ 福岡サービスグループ長崎駐在	〒850-0031 長崎県長崎市桜町8番31号 TEL:095-822-2494 FAX:095-822-2169
■ 大分サービスセンター	〒875-0002 大分県臼杵市下ノ江字浦501-2 TEL:0972-67-2447 FAX:0972-67-2276
■ 鹿児島サービスグループ	〒891-0132 鹿児島県鹿児島市七ツ島1-4-13 TEL:099-261-1793 FAX:099-262-5808
■ 日南サービスグループ	〒887-0000 宮崎県日南市字石河588-121 TEL:0987-23-1031 FAX:0987-24-0657
□ 部品センター	〒660-8585 兵庫県尼崎市長洲東通1-1-1 (ヤンマー(株)尼崎工場内) TEL:06-6401-6754 FAX:06-6401-6756
□ 遠隔監視センター	〒660-8585 兵庫県尼崎市長洲東通1-1-1 (ヤンマー(株)尼崎工場内) TEL:06-6489-8047 FAX:06-6489-8075
□ 市場サービス部	〒660-8585 兵庫県尼崎市長洲東通1-1-1 (ヤンマー(株)尼崎工場内) TEL:06-7636-9992 FAX:06-6489-8075

ヤンマーパワーテクノロジー株式会社

特機事業部 船用営業部

〒660-8585 兵庫県尼崎市長洲東通1-1-1
TEL:06-6489-8069 FAX:06-6489-1082

⚠ 安全に関するご注意

- ・ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ・故障・事故を未然に防止するため定期点検は必ずおこなってください。
- ・エンジンの封印を切ったの無理な運転はやめてください。
- ・エンジンの寿命を縮め、故障・事故の原因となることがあります。
- ・燃料、潤滑油、清水等は取扱説明書で指定されているものをお使いください。
- ・それ以外のものは故障・事故の原因となることがあります。

■本カタログの仕様は、改良などにより、予告なく変更することがあります。■商品の色は印刷物の関係上、実際の色と若干異なることがあります。■商品写真にはオプションを含む場合があります。販売店にご確認ください。



YANMAR

THE ELECTRIC PROPULSION SYSTEM

電気推進システム

THE
ELECTRIC
PROPULSION
SYSTEM



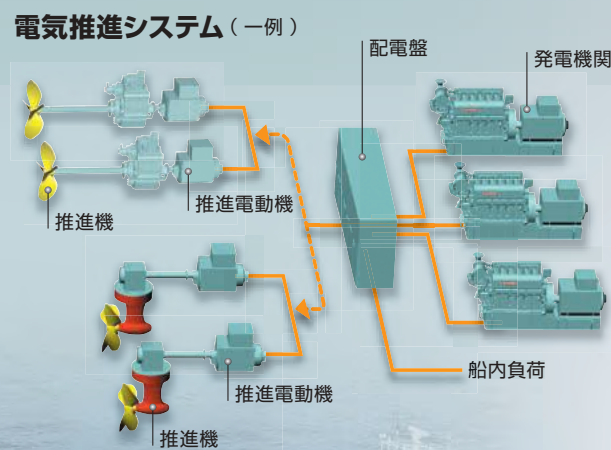
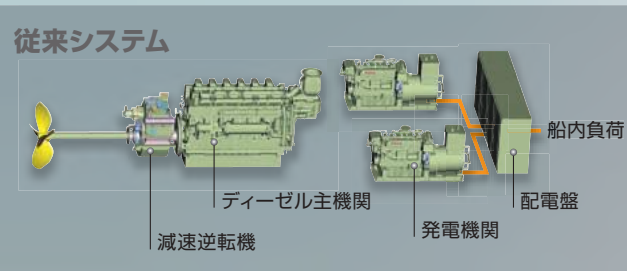
航海を支える、 確かな「安全」と「信頼」。 電気推進システム

発電機関による電力で航行する電気推進システムは、優れた経済性や安全性を発揮。地球環境に対する負荷軽減といった社会的ニーズにも応え、近年では各種商船から調査船、漁船など様々な用途で活躍する、まさに新時代の船舶推進システムです。

電気推進
システム
とは？

従来よりも、 効率的で機能的な 推進システム

従来システムでは、主機関がプロペラを回し、発電機関が船内負荷に電力供給していました。電気推進システムでは、複数の発電機関による電力で推進力や荷役設備など、すべての負荷をまかいます。



船種・用途に応じた最適なシステム構成が選択可能です。



メリット1 優れた経済性

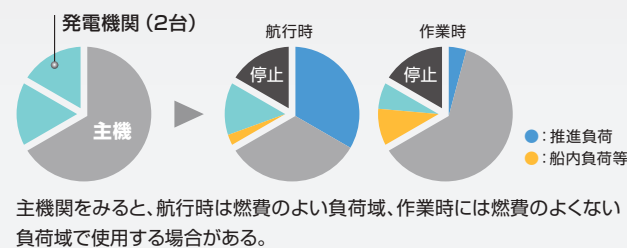
従来船よりライフサイクルコストが低減可能

電気推進システム採用により、保守管理や燃料に関わる費用など、トータルでの運航コスト低減が期待できます。さらに、高度船舶安全管理システムを組み合わせれば、計画保全検査方式の採用による整備費低減、船内業務の陸上支援による乗組員の作業負荷軽減が図れます。

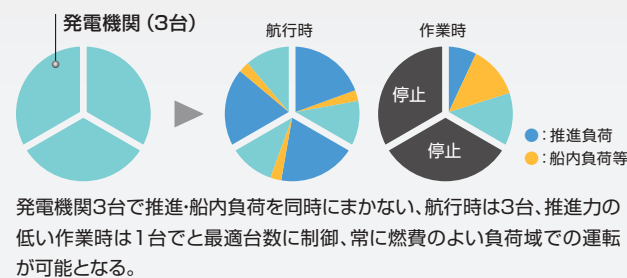
発電機関を最適台数に制御でき経済的

電気推進システムは、負荷に応じて、運転する発電機関を最適台数に制御でき、燃料消費量が抑えられます。また、その自動制御のために、ヤンマーでは自動同期投入装置を開発。安定した運航が可能となりました。

従来システム [推進力：主機出力 / 船内負荷：発電機関出力]



電気推進システム [推進力+船内負荷：発電機関出力]



船型改善による総合効率向上

電気推進システムは、従来システムと比べると電気への変換を行なう分、伝達効率が低下します。そのため電気推進システムの特徴である、機関配置設計の自由度を活かした船型改善による推進抵抗の低減を図ることにより、理想の船型を追求。総合効率向上が期待できます。



スペースの自由度アップ

プロペラ+シャフトとの直線的配置により主機関の据付位置が決められていた従来船に対し、設計の自由度が大きい電気推進船なら船内スペースを有効活用できます。

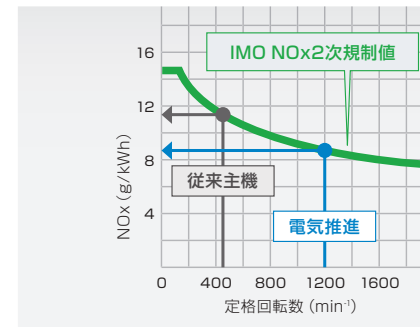
船内レイアウトの
自由度がアップ

積載容積がアップ
経済性も向上

メリット2 環境にやさしい

低NOx排出で環境保全に貢献

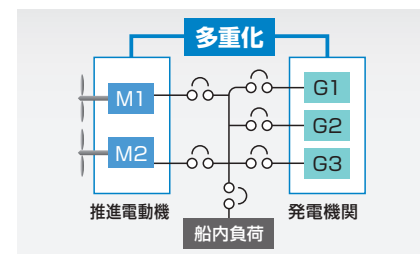
NOx排出量は回転数が高くなるほど低減する特性があるため、中高速の発電機関を装備する電気推進システムは、従来システムで採用していた低速機関に比べて、NOx排出量が少なくなります。



メリット3 確かな安全性

システムの多重化により信頼性が向上

発電機関と推進装置を各複数台装備したシステムの多重化により、万一、1台が故障しても他でカバーでき、定時性確保、航行の安全性が向上します。



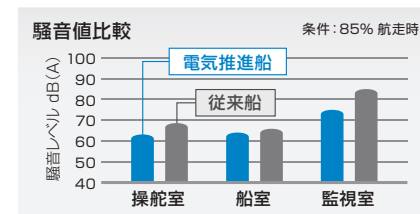
高い操船性を実現

超微速航行や停船性能・旋回性能など、操船性の向上が実現でき、狭い港湾での出入港が容易となります。

メリット4 高い快適性

低振動・低騒音で優れた居住性を実現

小口径気筒・中高速一定回転機関に加え、防振据付を採用。船内だけでなく、停泊地周辺の環境保全にも貢献できます。



機関統一による保守管理業務の軽減

単一機種（一定回転）搭載で主機関整備が不要となるため、保守管理業務の容易化が実現できます。

